2015 年 8 月 作成（第 1 版）　　認証番号：227ABBZX00037000

機械器具 12 理学診療用器具

管理医療機器　汎用超音波画像診断装置（40761000）

特定保守管理医療機器　汎用超音波画像診断装置 Aixplorer の構成品

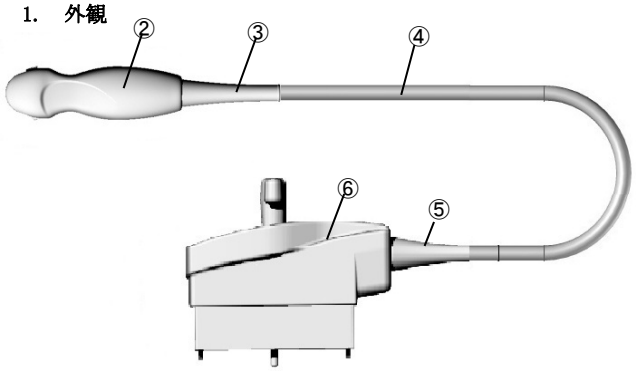
SMC12-3 プローブ

【禁忌・禁止】

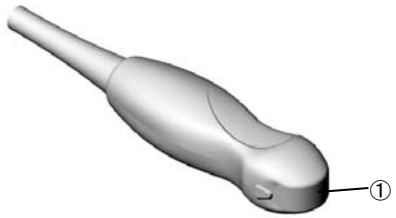
- 本装置のプローブを胎児、眼球に適用しないでください。
  [本装置は胎児、眼球への適用を意図して設計されていません]
- 本装置を経皮的臍帯血採取（PUBS）、体外受精（IVF）等の目的で使用しないでください。
  [本装置は、経皮的臍帯血採取、体外受精への適用を意図して設計されていません]
- 除細動器と併用しないでください。
  [性能の劣化や故障のおそれがあります]

【形状・構造及び原理等】

1. 外観



プローブ本体：



体に接触する部分の原材料：シリコーンゴム（①音響レンズ）

2. 構成品

本装置は、以下のユニットにより構成される。

1) プローブ本体
   ① 音響レンズ
   ② ハウジング
   ③ ケーブルブッシュ
2) ケーブル部
   ④ ケーブル
3) コネクタ部
   ⑤ ケーブルブッシュ
   ⑥ コネクタ

3. 機器の分類

水の有害な浸入に対する保護の程度による分類：IPX7

4. 動作原理

生体中にパルス状の超音波を放射し、生体組織の音響特性（音響インピーダンス）の異なる境界から反射される超音波信号（エコーという）をとらえて生体内の構造物の断層像を得る。

【使用目的又は効果】

超音波を用いて体内の形状、性状又は動態を可視化し、画像情報を診断のために提供すること。

【使用方法等】

詳細については、取扱説明書を必ず参照すること。

1. 使用前の準備
   1) 日常の始業点検（設置条件の確認、外観の汚れ、ケーブル類の破れの確認等）を行う。
   2) 本プローブを準備する。
   3) 本プローブを超音波診断装置に接続する。
   4) 超音波診断装置の電源を入れる。
   5) 本プローブを選択し、被検者情報を入力/変更する。

2. 基本操作
   1) 被検者の検査部位や本プローブに超音波ゼリーを塗布する。
   2) 本プローブを検査部位にあて、モニタに超音波画像を表示させる。
   3) コントロールパネル/タッチパネルを操作し、検査目的に応じた条件設定を行い、また、適度に本プローブを移動させながら目的の画像を表示させる。
   4) 必要な超音波画像を静止画像/動画像として、プリンタで印刷し、あるいは記録装置等に保存する。
   5) 必要に応じて、計測機能を用いて画像上の組織や病変部位の長さ、面積等を計測し、検査報告書等を使用して印刷/保存する。

3. 使用後の処置
   1) 超音波診断装置の電源を切る。
   2) 被検者の検査部位や本プローブに残っている超音波ゼリーをふき取る。
   3) 本プローブは洗浄及び消毒を行い、適切に保管する。

併用機器の使用

4. プローブカバーを使用する場合
   1) 本プローブに適合するプローブカバーを選択し、破損等がないことを目視で確認する。
   2) プローブカバーに滅菌ゲルを適量注入し、プローブカバーを破らないように注意しながら引っ張って本プローブに被せ、音響レンズ部に密着させしわや空気泡を取り除く。

【使用上の注意】

詳細については、取扱説明書を必ず参照すること。

1. 重要な基本的注意
   1) 機器や本プローブを分解しないこと。
   2) 液体のかからない場所で使用すること。液体がかかった場合は使用を中断し、拭き取るか、完全に乾くまで使用しないこと。
   3) 清掃をする場合は超音波診断装置の電源を切り、電源ケーブルを外してから行うこと。
   4) 修理は専門業者に任せること。専門業者以外の者が修理を行った場合は保証の限りではない。
   5) 超音波診断装置が電源ケーブルや本プローブのケーブルを踏まないように注意すること。
   6) 本プローブを落としたり、尖ったものや削れるものに接触させたりしないこと。
   7) 本プローブの不適切な清掃や、滅菌は故障の原因になる。
   8) 麻酔薬、酸素、水素など可燃性及び引火性の気体・液体を使用する場所では使用しないこと。

適合する超音波診断装置の取扱説明書を必ずご参照ください。

2. 併用機器の使用に関連する使用上の注意

1) 体腔内及び創傷皮膚部位を検査する際、術中に使用する場合は、必ずプローブカバーを使用すること。
2) 本プローブにプローブカバーを使用する場合、適合する製品を使用すること。
本装置に適合した併用機器以外は使用しないこと。
3) プローブカバーの使用に際しては、当該医療機器の添付文書または取扱説明書をよく読んでから使用すること。
4) 本プローブにプローブカバーを装着する際は、プローブカバーの継ぎ目が音響レンズにかからないようにプローブカバーの位置を調整すること。
5) 超音波造影剤について
・ 造影剤の取扱いは、必ず造影剤に添付された取扱説明書に従うこと。
・ 造影剤による患者への副作用については、製薬メーカーに問い合わせること。
・ 造影剤を使用中、患者に異常があった時は診断を中止して、適切な処置をすること。

3. 医用電気機器の使用上の注意

1) 機器の使用中は、次の事項に注意すること。
・ 機器全般に異常のないことを絶えず監視すること。
・ 機器に異常が発見された場合には、機器の動作を止めるなど適切な措置を講ずること。
2) 機器の使用後は、次の事項に注意すること。
・ コード類の取外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
・ 付属品、コード類は清浄にした後、整理してまとめておくこと。
・ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。
3) 機器が故障したときは、勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門業者に任せること。
4) 機器は改造しないこと。
5) 保守点検
・ 機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
・ しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常に且つ安全に作動することを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

・ 水のかからない場所に保管すること。
・ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所に保管すること。
・ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
・ 付属品、コード類は清浄にした後、整理してまとめておくこと。
・ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄しておくこと。

2. 使用条件

周囲温度： 10～35℃
相対湿度： 30～80%

3. 保管条件

周囲温度： -20～50℃
相対湿度： 30～80%

4. 耐用期間

指定の保守・点検ならびに消耗品の部品交換を行った場合に限り、2 年［自己認証（スーパーソニック・イマジン社データ）による］。

【保守・点検に係る事項】

詳細については、取扱説明書を必ず参照すること。

＜使用者による保守点検事項＞

1) 本プローブは各使用後に清掃し、消毒する。
本プローブの清掃手順
・ 各検査後に本プローブの測定面、筐体についた超音波ゼリーを拭き取る。
・ 本プローブの測定面、ケーブル部に損傷がないか確認し、損傷がある場合は清掃、消毒をやめ、製造販売元に連絡する。
・ 本プローブの測定面、筐体、ケーブル部を水を浸み込ませた柔らかい布で拭く。
・ 本プローブを水で洗い流す。
・ 空気乾燥させるか、柔らかい乾いた布で拭いて乾燥させる。
本プローブの消毒手順
・ 本プローブは消毒の前に必ず清掃する。
・ 承認された消毒剤を使用する場合はその使用説明書に従って消毒する。
本プローブを消毒剤に浸す必要がある場合は、取扱説明書で定められた範囲までとする。
・ 空気乾燥させるか、柔らかい乾いた布で拭いて乾燥させる。
・ 本プローブの測定面、ケーブル部に損傷がないか再確認し、次の検査に使用する。

＜業者による保守点検事項＞

本装置を安全に使用するために、外観、機能、性能について年 1 回の点検を行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者： コニカミノルタ株式会社
住　　所： 東京都日野市さくら町 1 番地
電 話 番 号： 042-589-8421

製 造 業 者： スーパーソニック・イマジン社（フランス）
SuperSonic Imagine, S.A.

適合する超音波診断装置の取扱説明書を必ずご参照ください。